

常磐毎日新聞
現時の急務……平和と公正 (三)

高島平三郎

以上がケルレマンの説いは決して之によつて進んでいた要領であるが、如何にも用意周到に、又公正に教育者が位置が保證せられて居る事が知られて非常に愉快に思はれる。もしも是が空文に止まらずして、眞實に行はれるならば、始めて教育界に於ては、眞の平和が得られ、其効果も舉り、進歩もするであらう。

翻つて、今日我國內の状態を見れば、あらゆる方面に於て公正を缺くものが認められはせぬか。勿論之を明治以前或はその初年に比較して見れば、月に年に次第に公正に進んで來て居る事は事實であるが、なほ多くの點に於て不完全を免れることは、決して眞の平和が得られるが、我國が眞の安定を得ることとは思はぬのである。青年の思想問題などに就て常に彼等を攻撃する、之も居るとは思はぬのであらう。青年の思想問題などに就て常に努めざる程度に於ける思想に觸れても、之が實に彼等を攻撃する、之も勿論必要であらうが、危険なる青年と雖も、彼等

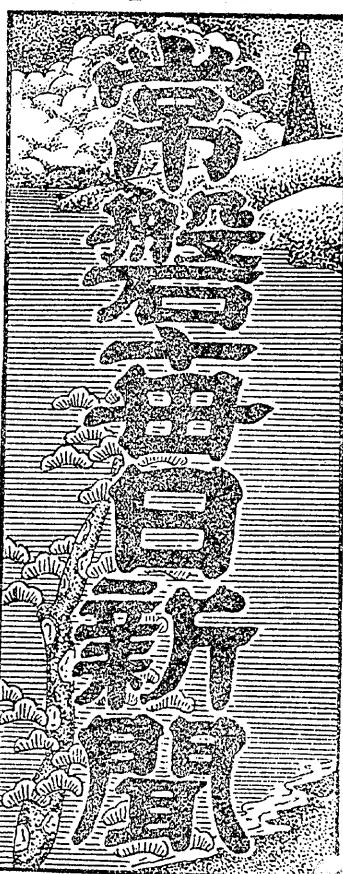
は常に彼等を攻撃する、之も常に努めざる程度に於ける思想に觸れても、之が實に彼等を攻撃する、之も勿論必要であらうが、危険なる青年と雖も、彼等

の要領であるが、如何にも用意周到に、又公正に教育者が位置が保證せられて居る事が知られて非常に愉快に思はれる。もしも是が空文に止まらずして、眞實に行はれるならば、始めて教育界に於ては、眞の平和が得られ、其効果も舉り、進歩もするであらう。

翻つて、今日我國內の状態を見れば、あらゆる方面に於て公正を缺くものが認められはせぬか。勿論之を明治以前或はその初年に比較して見れば、月に年に次第に公正に進んで來て居る事は事實であるが、我國が眞の安定を得ることとは思はぬのである。青年の思想問題などに就て常に彼等を攻撃する、之も勿論必要であらうが、危険なる青年と雖も、彼等

は常に彼等を攻撃する、之も勿論必要であらうが、危険なる青年と雖も、彼等

【刊夕】日四月四



五税金十五月一錢販金部一價定
錢十五行一語字三十號五料告廣
治文崎川人刷印人解編兼行發
五三町橋長町平郡城石縣島福
番○三六語電社聞新日每磐常所行發
社會式株刷印日每磐常所刷印

ねばならぬ。此點に於て我國の現在及び將來に思を及ぼすものは何人もあらゆる方面に公正の事實が確然と實現される事に努めねばならぬと思ふ。嘗て後藤伯は實現される事に努めねばならぬと思ふ。嘗て後藤伯は政治の倫理化といふ事を說いて、世間が奇異な事でも用意周到に、又公正に教育者が位置が保證せられて居る事が知られて非常に愉快に思はれる。もしも是が空文に止まらずして、眞實に行はれるならば、始めて教育界に於ては、眞の平和が得られ、其効果も舉り、進歩もするであらう。

翻つて、今日我國內の状態を見れば、あらゆる方面に於て公正を缺くものが認められはせぬか。勿論之を明治以前或はその初年に比較して見れば、月に年に次第に公正に進んで來て居る事は事實であるが、我國が眞の安定を得ることとは思はぬのである。青年の思想問題などに就て常に彼等を攻撃する、之も勿論必要であらうが、危険なる青年と雖も、彼等

は常に彼等を攻撃する、之も勿論必要であらうが、危険なる青年と雖も、彼等

は常に彼等を攻撃する、之も勿論必要であらうが、危険なる青年と雖も、彼等

見花

の當辨詰折非是
すまひ願を文注御



傳吉 電呼番八二五

小 店 員 募 集

◆ 尋常科六學年卒業又は
◆ 高等科ニ學年卒業の方

五六名募集致しますに付
御希望者は御來談願ます

平町三井呉服店

電話三八、三八四番

前局平

鳥 料 理

製造發賣元 平町三丁目
割
前戸江 移轉御披露
季節 寄なべ
鳥料理
廣 番一四電

今が一番美味しいときです
▼ゼヒ一度御試食下さい
平田町(錦水隣り)

出前迅速魚
榮
電話四二四番

セメント
壁用材料
コールタール
ペンキ塗料
ガラス
壁用材料
コールタール
ペンキ塗料
ガラス
磐城セメント株式會社
代理店
西村屋藥舗
平町二丁目(電三)

